

(%)
50

三社電機グループ 成長の軌跡

三社電機グループは、1933年の創業以来、
社会の求める製品を創造することで、社会の発展に貢献してまいりました。

1983年に初の海外拠点を米国、香港に設立してから約40年。
三社電機グループは今後も世界に向けた事業を進めてまいります。

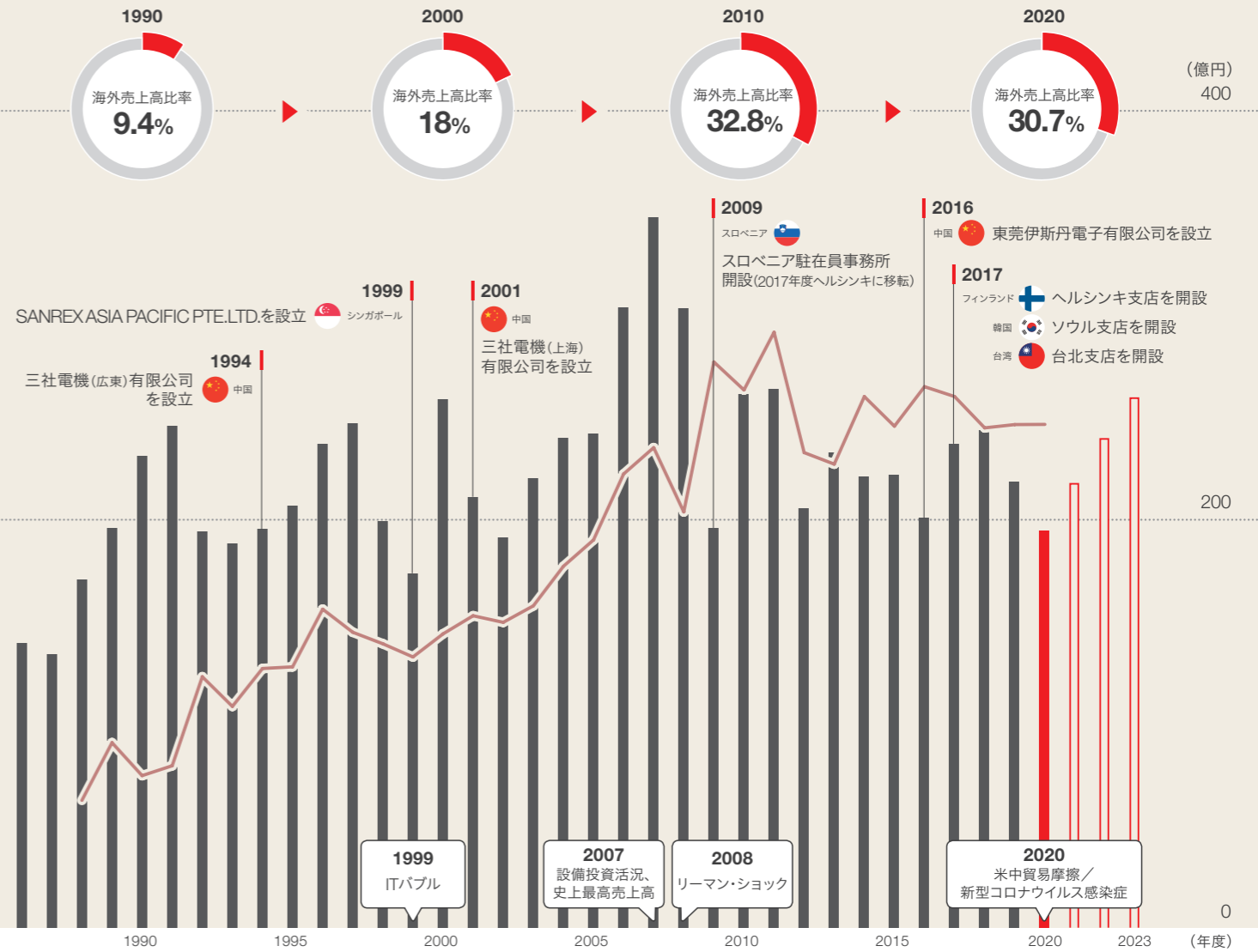
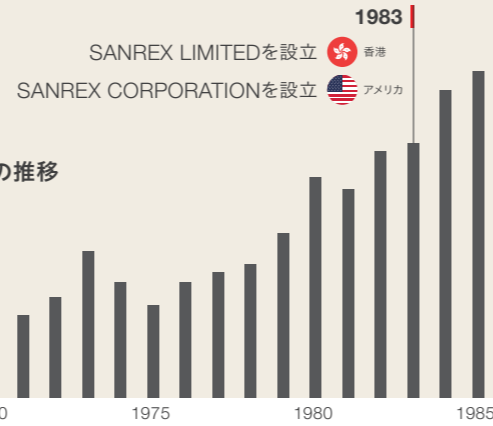
25



名誉会長：四方邦夫
1986年から2021年まで
代表取締役社長および
代表取締役会長を務める

時代がどのように変わろうとも、三社電機グループの最も重要な社会的責任は、メーカーとして社会に価値ある「モノづくり」にあります。
三社電機グループは、「モノづくり」を通じ、お客様の満足を実現し、利益を生み出すことで、企業の持続的成長があるとの視点に立ち、すべてのステークホルダーと良好な関係を築き、発展していくことを目指してまいります。

連結売上高と海外売上高比率の推移
■ 連結売上高(右軸)
— 海外売上高比率(左軸)



1933 >> 1970

創業から現在に続く技術基礎の確立

- 1933 三社電機製作所創業
- 1948 株式会社三社電機製作所設立
- 1953 東京出張所(現在の東京支店)開設
- 1960 本社工場竣工(大阪市)
初代社長：四方幸夫
創業から1972年まで
代表取締役社長を務める
- 1970 福岡駐在所
代表取締役社長を務める



1971 >> 1990

拠点拡大、パワー半導体の開発特化

- 1982 電源機器生産の滋賀工場竣工(滋賀県)
- 1985 パワー半導体生産の岡山工場竣工(岡山県)
二代目社長：四方正夫
1972年から1986年まで
代表取締役社長を務める



製品開発

- 1933 映写機用電源の前身である
チョーキングコイル・オートトランスを開発
- 1937 映写用
タンガー整流器を開発
- 1963 当社初のパワー半導体、サイリスタを開発・発表
- 1964 インバーター無停電電源装置、電気炉電力調整器を開発
- 1968 全拡散型トライアックおよびサイリスタを開発
- 1970 めっき用整流器を開発



映写用タンガー整流器

- 1971 日本初の絶縁型トライアックを開発
- 1980 サイリスタモジュール、
高速スイッチング用パワートランジスタを開発
- 1982 パワートランジスタモジュールを開発
- 1988 パワーMOSFETモジュールを開発



絶縁型トライアック



サイリスタモジュール

1991 >> 2010

さらなるグローバル化へ体制を整備

- 1994 滋賀工場が「ISO9001」の認証を取得
- 1996 岡山工場が「ISO9001」の認証を取得
- 1997 大阪証券取引所市場第二部へ株式を上場
- 2001 電源機器製造本部が「ISO14001」の認証を取得
- 2002 半導体製造本部が「ISO14001」の認証を取得

- 1991 プレーン型トランジスタモジュールを開発
- 1993 太陽光パワーコンディショナーを開発
- 2002 デジタルシネマプロジェクター用光源機器用電源を開発
- 2007 汎用インバーター用IGBTチップを開発



太陽光パワーコンディショナー



デジタルシネマプロジェクター用
光源機器用電源

2011 >> 2020

新たな時代に向かって

- 2016 株式会社三社ソリューションサービスを設立(大阪市)
- 2016 株式会社三社電機イースタンを設立(長野県)
(現 諏訪三社電機)、小型電源事業を開始
- 2018 中部営業所を開設(名古屋市)
- 2018 北陸事務所を開設(石川県)

- 2014 国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所向け
太陽光発電評価用試験装置を開発
- 2015 パナソニック株式会社とSiCパワーモジュールを共同開発
- 2016 バーチャルパワープラント(VPP)構築実証事業への参画
- 2017 燃料電池対応パワーコンディショナー(20kW)を開発
- 2019 太陽光発電用1500Vストリング対応
ダイオードモジュールを開発
- 2020 蓄電池評価用電源を開発



SiCパワーモジュール



太陽光発電用
1500Vストリング対応
ダイオードモジュール



蓄電池評価用電源